



Technical Note 05-19

FAQ-バージョン 2004 のリストフォーム

By 4D Technical Support
Technical Note 05-19

(原題: FAQ - List Forms in version 2004)

概要

バージョン 2004 で出力フォームの動作に統一が計られました。リストフォームを表示する方法には次の 3 通りがありますが、以前のバージョンではそれぞれに違う動きをしていました。

- ユーザモードの出力フォーム (更新可)
- MODIFY SELECTION および DISPLAY SELECTION (更新不可)
- サブフォーム (複数選択不可)

バージョン 2004 では、こうした制限の違いが取り払われ、基本的にすべて同じように扱えるようになりました。サブフォームだけは、若干の相違点がありますが、基本的にどのリストフォームも同じように動作します。

FAQ

選択モード「単一」のリストフォームにカレントレコードがロードされなくなった

OS がリストフォームを含むウィンドウを再描画あるいはリフレッシュすると、カレントレコードがアンロードされます。しかし、カレントレコードへのポインタは引き続きそのレコードを指しています。

したがって LOAD RECORD コマンドを使用すれば、カレントレコードをロードして処理することができます。通常、親フォームの On Load イベントで実行するのが理想的です。

選択モード「単一」のリストフォームでカレントレコードがアンロードされてしまう

リストフォームを含むウィンドウが再描画されると、前記の動作により、カレントレコードがアンロードされます。LOAD RECORD によってこれを再ロードできます。同じことはフォーカスを得たとき (再描画が発生するため) についてもいえます。

はじめて表示されたリストフォームなのにハイライトされているレコードがある

選択モードによって現象が異なります。

▼ 単一選択モード

4D は自動的にカレントレコードをハイライトします。ただし、ロードはされていません。On Load イベントで GOTO SELECTED RECORD([Table];0)を実行すれば、カレントレコードへのポインタがリセットされ、同時にハイライトも消えます。

▼ 複数選択モード

はじめて表示されたリストにハイライトはありません。カレントレコードはロードされておらず、On Clicked イベントでも拾えない状態です。

リストフォームの余った部分に空行が表示されなくなった

OS の GUI に準拠し、仕様が変更されました。

ウィンドウもしくはリストフォームが表示できる行数よりも表示すべきレコードが少ない場合にのみ、空行が表示されます。最後のレコードを超えて下にスクロールすることはできません。

過去のバージョンよりアップグレードされたリストフォームについては、プロパティを変更しない限り、空行ダブルクリックによるサブレコードの追加が可能です。それでもレコード数がフォーム上に表示できる数を超えると空行そのものがないので、この方法によるレコードの追加は不可能になります。

なぜ空行をダブルクリックする方法が推奨されないのか

この操作は既存のどの OS GUI とも合致せず、将来的になくなる方向にあります。その上、レコード数が増えると、空行がなくなるので、サブレコードの追加ができなくなってしまう。

空行をダブルクリックする方法に代わるものは何か？

▼ 標準アクション「サブレコード追加」を使用する方法

以前のバージョンとは異なり、2004 ではこの方法が MODIFY SELECTION や DISPLAY SELECTION で表示されたフォームやサブフォームでも有効になりました。

▼ ADD RECORD をコールする方法

オブジェクトメソッドを記述する場所は以下のとおりです。

■ サブフォーム

親フォーム

サブフォームのヘッダエリアもしくはブレイクエリア

■ その他のリストフォーム

ヘッダエリア、ブレイクエリア、フッタエリア

4D Japan 注記:

2004.1 ではフッタエリアに配置したオブジェクトのリサイズに問題があります。

▼ メニューを使用する方法

CREATE RECORD など適当なコマンドを使用したプロジェクトメソッドを関連づけま
す。

▼ ショートカットによる方法

環境設定に、サブレコードを追加するためのショートカットの項目があります。



注記：追加以外の動作については下記のコマンドを実行します。

DELETE SUBRECORD
MODIFY SUBRECORD
MODIFY RECORD
DELETE RECORD

コンバートしたばかりのリストフォームのプロパティは？

以下のようになります。

バージョン 2003	コンバート後の選択モード
入力可、選択可のサブフォーム	単一
入力不可のサブフォーム	なし
MODIFY SELECTION、DISPLAY SELECTION で表示されたリストフォーム	複数
ユーザモードのリストフォーム	複数

On Clicked イベントでカレントレコードがロードされなくなった

以下の条件ではカレントレコードが自動的にロードされません。

▼ 複数選択モード

クリックはハイライト表示の変化を生じさせますが、カレントレコードのロードは起きません。

▼ 選択モードなし

何も起きません。

空行で On Display Detail イベントが発生するのは何故か？

On Display Detail イベントは、空行も含め、ウィンドウに表示されているすべての行について発生するようになりました。これには他のプロセス、他のクライアントによって削除されたレコードも含まれます。場合によってはコードの調整も必要です。

例:



サブフォームがフォーカスを得ているときに点滅する三角印がなくなった

OS の GUI に準拠し、除去されました。必要な場合は、On Getting Focus、On losing Focus イベントで同種のオブジェクトを制御します。

リストフォームからオブジェクトが消えた

リストフォームの仕様が強化されたため、一層厳密に管理する必要が生じました。オブジェクトは、次のいずれかのエリアに完全に収まっていなければなりません。

ヘッダエリア
詳細エリア
ブレイクエリア

1 ピクセルでも複数のエリアをまたがってはいけません。ただし次項の場合は例外です。

リストフォームの外観が変わった

ヘッダエリアからブレイクエリアにかけて配置されたスタティックオブジェクトは高さを引き延ばして 1 つだけ表示されます。

うまくリスト更新ができない

OS の GUI に準拠し、クリックの扱いが変更されました。

シングルクリックで編集対象となる行を選択します。
2 度目のクリックで編集状態に入ります。

間隔が短いとダブルクリックになってしまいます。

コマンドでリストを編集状態にする方法

EDIT ITEM コマンドはリストフォームまたはサブフォーム中の選択された行の最初の項目を編集状態にします。このとき On Selection Change、On Load Record イベントが発生します。

リストが更新モードに入るときにイベントを拾う方法

On Display Detail の変更とともに、新しいフォームイベントが追加されました。On Load Record です。

このイベントはフォームがリスト更新可の場合に発生します。EDIT ITEM コマンドを実行したときにも起こります。

On Display Detail ではそのときに表示されているデータが編集されます。リストフォーム上で正しくレコードを更新するには On Load Record が必要です。

プログラムでハイライトを制御する方法

フォームの選択モードに従って、ひとつあるいは複数の行をコマンドでハイライトすることができます。サブフォームの場合、テーブルの UserSet とハイライトは無関係です。(UserSet は作られません。)

▼ 単一選択モード

GOTO SELECTED RECORD などカレントレコードを操作するコマンドによってハイライトを制御できます。この場合、GOTO SELECTED RECORD ([Table];0)はカレントレコードをアンロードし、カレントレコードへのポインタをクリアし、ハイライトを消します。

▼ 複数選択モード

コマンド HIGHLIGHT RECORDS によって制御できます。カレントレコードはアンロードされますが、カレントレコードへのポインタは影響を受けません。

選択モードは MODIFY SELECTION および DISPLAY SELECTION に引数として渡すか、サブフォームの場合はプロパティリストで設定します。

ハイライトを検出する方法

On Selection Change イベントでハイライトの状態を取得します。このイベントはユーザーがいずれかのレコードをハイライトするごとに起きます。その後のメソッドは選択モードによって異なります。

▼ 単一選択モード

Selected record number 関数でハイライトされたレコードの位置を取得します。

▼ 複数選択モード

GET HIGHLIGHTED RECORDS コマンドを使用します。単一モードでこのコマンドは使用できません。

▼ なし

On Selection Change イベントは起こりません。

以前のバージョンでは主に On Clicked および On Double Clicked でサブフォーム上でのイベントを取得していましたが、今後は On Selection Change が中心になります。